

項目	指定方法	
受信日	開始/終了日を指定	クリックして表示されるカレンダーから日付を選択します。
	今日の日付から指定	今日を含めて何日以内かの日数を入力します。
出力日	開始/終了日を指定	クリックして表示されるカレンダーから日付を選択します。
	今日の日付から指定	今日を含めて何日以内かの日数を入力します。
アプリケーション	255文字以内で入力します。	
アカウント	32文字以内で入力します。	
コメント（ジョブ）	255文字以内で入力します。	
カラーモード	—	
RIP状態	—	
面付けモード	—	
ジョブ削除の許可	—	
フォームを使用する	—	
メモ（カラーパッチ）	—	
メモ（ジョブプロパティ）	—	
メモ（ユーザー定義）	—	
メモ（コメント）	—	
メモ（コメント）の文字列	255文字以内で入力します。	

■追加

［検索条件］で選択した項目が、画面下部のフィールドに追加されます。
条件を削除するには、検索項目の左端にある［－］をクリックします。

■すべて削除

検索項目と、入力した検索条件がフィールドからすべて削除されます。

■クリア

入力した検索条件がフィールドから削除されます。

■大文字、小文字を区別する

チェックを付けると、検索時に、入力された英字の大文字と小文字が区別されます。

■検索条件の保存

指定した検索条件が新しく追加されます。

■（フィルター解除）

クリックすると、すべてのジョブが表示される状態に戻ります。

■（追加）

新しい検索条件を追加します。入力できる検索条件名は、最大32文字です。

■右クリックメニュー

■編集

選択した検索条件を新規作成と同じ手順で編集します。

■コピー

選択した検索条件を複製します。

■削除

選択した検索条件が削除されます。分類されているジョブは削除されません。

3.4 ジョブの読み込み

プリントサーバー、クライアントPC、またはネットワークにあるファイルを、ジョブとしてプリントサーバーに取り込みます。

補足

- ・クライアントPCでジョブを読み込み中は、ほかのクライアントPCでは、読み込みができません。
- ・ジョブ読み込み時、1ファイルの最大サイズは、10 GBです。ただし、クライアントPCのPrint Stationから [クライアント (ローカルマシン)]、または [ネットワーク] のファイルを読み込むときは、4 GBです。

1. メインメニューの [ジョブ管理] → [ジョブ読み込み] を選択します。

補足

ジョブリストにファイル (複数可)、またはフォルダーをドラッグ&ドロップしても、ジョブの読み込みができます。

2. 各項目を設定して、[OK] をクリックします。

補足

- ・[読み込み後の動作]、および [プリント後の動作] の設定と、ジョブテンプレートの [設定] の設定が異なる場合は、[読み込み後の動作]、および [プリント後の動作] の設定が優先されます。ただし、ジョブテンプレートの「優先設定オン」の項目は、テンプレートの設定が優先されます。
- ・[ジョブ保存] で作成したジョブを読み込んだとき、ジョブテンプレートの「優先設定オフ」の項目は、保存したときの設定が適用されます。
- ・ドラッグ&ドロップでジョブを読み込んだときは、[ジョブの読み込み] ダイアログボックスを表示させないこともできます。
詳細は、『サーバー設定編』の「4.6 ジョブ設定」を参照してください。

■ ファイルの選択

読み込むファイルを選択します。

補足

[ネットワーク] のフォルダーは、リンクメニューの [設定] アイコン → [システム設定] → [転送先/接続先] の [Windows ネットワークの新規登録] で [ジョブ読み込み先として使用する] にチェックを付けて、ネットワークドライブが設定されていると、表示されます。ただし、サブフォルダーにはアクセスできません。
詳細は、『サーバー設定編』の「4.5 転送先/接続先」を参照してください。

■ ファイルの種類

読み込み可能なファイル

表示されるファイルフォーマットは、次のとおりです。

- JBF
- BBF
- ZIP
- PS
- PDF
- EPS
- TIF
- JPG
- VPC

ジョブファイル

表示されるファイルフォーマットは、次のとおりです。

- JBF
- BBF
- ZIP



以前のプリントサーバー（PX Print Server）のジョブを読み込むこともできます。
詳細は、『ジョブプロパティ編』の「10 注意制限事項」を参照してください。

その他のファイル

表示されるファイルフォーマットは、次のとおりです。

- PS
- PDF
- EPS
- TIF
- JPG

すべてのファイル

すべてのファイルフォーマットが表示されます。

■ フォルダを指定する

チェックを付けたときは、分類されるフォルダを選択します。

■ ジョブプロパティ

読み込んだジョブに適用するジョブプロパティを選択します。

テンプレート

前回使用したテンプレートが選択されています。

選択されたジョブテンプレートが使用されます。

論理プリンター

選択された論理プリンターに設定されているジョブテンプレートが使用されます。

■ 読み込み後の動作

ジョブを保留する

ジョブを読み込んだあと、プリントせずに保留します。

RIP後にジョブを保留する

ジョブを読み込んだあと、RIPデータを作成してから保留します。

プリントする

ジョブを保留せずにプリントします。

ジョブ保存時の状態を復元する

チェックを付けると、[ジョブ保存]（P.43）で作成したジョブ（JBF、BBF、ZIP）の状態が維持されたまま、復元されます。

単体ファイル（PDFなど）では、保存時の状態は復元されません。



- 受信/プリント日時、ジョブプロパティの設定、テンプレート名なども保存時の状態で復元されます。
- エラージョブを読み込んだ場合は、エラーの詳細情報が復元されないことがあります。

■ プリント後の動作

ジョブを保持する

プリントが完了したあともジョブを削除せずに保持します。

◦ RIPデータを保持する

チェックを付けると、プリントが完了したあともRIPデータを削除せずに保持します。

補足

[ジョブを保持する] のチェックを外すと、RIPデータは保存されません。

3.5 ジョブ履歴

ジョブの履歴を表示、プリントできます。また、ファイルとして保存できます。プリンターを共有している場合、部門やユーザーごとにジョブ履歴の確認ができるので、管理がしやすくなります。

補足

- 管理者、またはオペレーターでログインしている場合だけ、操作できます。
ユーザーでログインしている場合は、参照だけができます。
- ジョブ履歴を表示、プリント、保存するためには、リンクメニューの[設定] アイコン→[システム設定]→[ジョブ設定]→[ジョブ履歴]の[ジョブ履歴を保持する]にチェックが付いていることを確認してください。
詳細は、『サーバー設定編』の「4.6 ジョブ設定」を参照してください。

■ ジョブ履歴の内容

ジョブごとに、設定した項目が表示されます。

表示可能な項目は次のとおりです。

*：必須表示項目

• 記録日時*	• ID*	• サブID*	• JDFジョブ ID
• JDFジョブパートID	• ジョブ名*	• ステータス	• 所有者
• 論理プリンター	• テンプレート	• 面付け設定	• 受信開始日時
• データ変換開始日時	• データ変換経過時間	• RIP開始日時	• RIP経過時間
• ラスター生成開始日時	• ラスター生成経過時間	• プリント開始日時	• プリント経過時間
• プリント完了日時	• カラーモード	• 用紙種類	• メディア名
• 給紙トレイ	• 用紙サイズ	• 用紙幅	• 用紙長さ
• 両面	• 部数	• ソート	• 原稿ページ数
• 印刷済み原稿ページ数	• 印刷済みカラーページ数	• 印刷済み白黒ページ数	• 出力ブランクページ数
• 印刷済み特殊トナーページ数	• 印刷済み特殊トナーページ数 (詳細)	• 印刷済み用紙枚数	• 最終出力ページ
• 面付けページ数	• やれ紙枚数	• バナーシート	• 排出先の上書き
• アカウント	• コメント	• エラー情報	• フォルダー
• タグ			

補足

- 「サブID」は、同一ジョブ内で用紙ごとに割り振られるIDです。
ジョブ内に複数の用紙が存在していて、[ジョブ履歴]→[項目の設定]の[複数の用紙を使用するジョブ]で[分割して表示する]が選択されている場合に表示されます。
- 「データ変換」、「RIP」、「ラスター生成」とは、次の変換を示します。
 - データ変換：PS/PDF以外のフォーマットからPSデータへの変換です。RIP経過には含まれません。
 - RIP：PS/PDFデータからRIPデータ（中間データ）への変換です。
 - ラスター生成：RIPデータからラスターデータへの変換です。RIP経過には含まれません。
- 「用紙種類」には、メディアを使用している場合は「メディア名」、メディアを使用していない場合は、「紙質/用紙色/